

たけのこ

2024.5.16

今年の春は、たけのこをいただくことが多かった。妙にたけのこの縁があった。おかげで、お弁当にたけのこ、夕飯もたけのこ三昧という日もあるくらいだった。家人は、昔からたけのこが大好きである。この春は、改めてたけのこをおいしくいただく機会となった。

ところがである。先週くらいから、持病が悪化し、痛みが出始めた。思い当たる節がない。食事には気をつけている。プリン体とは縁遠い生活をしている。足に痛みが出ると、革靴が履けない。テニスシューズも厳しい。ソフトテニス業務にも支障が出る。毎日、薬も飲んでいる。なぜだ。

何気なく、職場でこの話をした。すると、「園長先生、たけのこじゃないですか！」「えっ」そんなわけないだろうとは思いながらも、スマホで調べてみた。「〇〇の患者は、タケノコ、特にアスパラガスの摂取を避けるか制限する必要があります。それは、〇〇が悪化して再発する可能性があるためです。タケノコにはプリン体が多く含まれており、体内に入ると△△に変換されます。」

愕然とした。今年は、例年になく、アスパラガスも食べた。家人は、たけのこもアスパラガスも大好きである。これでは、持病の症状が改善するわけがない。無知とはこわいものである。薬の効果よりも、たけのこが作り出す△△の方が上回ったということか。

ちょうど、薬がなくなるタイミングだった。いつものお医者さんに行った。新しい保険証を初めて出した。いつものように、お医者さんに聞かれた。「どうですか」「足の親指が痛むんです」たけのこのことを言おうかとも思ったが、思いとどまった。無知であることがばれてしまう。恥ずかしい。

以前、持病に関する資料を見たことがあった。そこには、たけのこもアスパラガスも書いてはいなかった。年中、食べるものでもないからか。痛み止めを処方していただいたおかげで、足の痛みは治まった。パタッと、たけのこを口にすることもなくなった。

今年の1月から、ずっと持病には悩まされてきた。その間、たけのこアスパラガスをおいしくいただいてきた。それが、私の体にはよくなかったとは。知らないというのは、恐ろしい。今回は、たまたま職場の方に教えていただいた。おかげで救われた。

これからも、何があるかわからない。だからと言って、たけのこ三昧を後悔はしていない。アスパラガスもおいしかった。今年の春は、たけのこの縁から教えられた。さて、来年の春はどうするか。家人だけが、たけのこアスパラガスを楽しむのだろうか。それもさびしい。これから△△値を正常まで下げよう。そうすれば、少しぐらいは食べてもいいだろう。たけのこの縁は切りたくない。何ととっても、5歳児のクラスは、たけのこ組なのだから。